



2008～09 年度  
国際ロータリー会長

李 東 建

# Weekly Report Niigata



2008～09 年度  
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 3 月第 2 例会 (2009.3.10) No.2791

## (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

### (2) 柴田 史郎会長挨拶

前川委員長をはじめ、プログラム委員会の皆様のご尽力により、いつも例会での卓話を楽しませて頂いております。あらためて感謝いたします。卓話の内容の受け止め方は、聞く側の一人一人で当然異なります。また、卓話から何を聞き取るかもそれぞれ違って来るかと思われ

ます。  
7-8年も前の話ですが、ある卓話の中で、皮肉たっぷりに「ロータリーとはエリート達の昼食会にすぎない。年寄りの道楽だろう。」という意味の話が有りました。その当時はそういう見方をしている人も居るのだなと思っただけでした。現在の私の考えでは、そういった見方は間違いであり、群馬のPGであった前原さんという方も仰っているように「ロータリーとは、普通の意味でのエリーの集団なのではなくて、本当の意味でのエリートを育てようとしているクラブである」のだと思っています。

では、本当の意味でのエリートとはどういうものか。

面白い事に、道楽やエリートといった言葉は、普段私達が日常使っている普通の意味とはかなり違った意味を持っていることを知りました。たとえば、エリートと言う言葉は、ラテン語で「神に選ばれし者」の意味であり「自らの利害、得失と関係なく他人や物事に尽くす人」を指しているのだそうです。ですから、語源的にみると私どもがこの言葉を聞いたときに抱

くイメージとはかなりかけ離れた言葉だといえそうです。

ロータリーでも、単に高学歴、高収入、優れた能力、社会的地位が高いといったことだけの普通の意味でのエリートに対しては、エリートとは言わないのです。ロータリーの綱領やモットーを自らのものにするよう努力をし「自らの利害、得失に関係なく他人や物事につくす」ことの出来る人の事を、本当の意味でのエリートと称し、ロータリアンはそのようなエリートになれるよう務めているということかと思えます。

### (3) 半期会計監査報告

- ・山田 隆一幹事より上半期会計は予算に従い、順調に推移している報告があった。
- ・小柳 実会計監査より伴 昭彦会計監査と共に特別会計、経常費会計を監査し相違ない旨の報告があった。

### (4) 卓話 「にいがた酒の陣 2009 よもやま話」

緑川酒造(株) 代表取締役社長 大平 俊治氏

### 3月17日の例会予定

卓話「新潟における広域連携の取り組みについて」

上信越トライネット推進協議会会長代行

長谷川 克弥氏

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigata-rc.jp/>